

この質疑応答録は、2019年7月29日(月)に開催したアナリスト、ファンスマネージャー向け決算説明会電話会議にて、ご参加の皆様からいただいた質問とその回答の概要です。

■インダストリアル機器部門について

質問 1

第1四半期のコンクリート構造物向け工具、特に鉄筋結束機「ツインタイア」の地域別の需要動向はどのようになっているか教えてください。

回答 1

第1四半期は北米の伸び率が良く、欧州は為替の影響を受けましたが、鉄筋結束機の売上は前年を上回りました。

質問 2

第1四半期で「ツインタイア」消耗品が伸びた背景と今後の消耗品の伸び率はどうなると考えているか教えてください。

回答 2

消耗品の前年に対する伸率は10%を超える水準となっています。現在の伸率がどこまで継続するか、はっきりとは申し上げられませんが、当面は継続すると考えています。

質問 3

「ツインタイア」の土木向けルートの開拓状況を教えてください。

回答 3

海外では、北米・欧州に新規のディーラーを設置し、ルートを開拓しています。国内ではプレキャスト工場や土木市場を中心に開拓を進めており、機械が少しずつ導入されはじめ、消耗品の売上に貢献しています。

質問 4

「ツインタイア」の需要について、第2四半期以降も今のペースが続いていくとお考えですか。

回答 4

市場拡大の取り組みを継続し、第1四半期と同じような傾向で推移できればと考えています。

質問 5

「コンクリート構造物向け工具」の国内と海外の売上構成比を教えてください。

回答 5

第1四半期の実績は、国内1:海外3の割合です。

質問 6

第1四半期の「ツインタイア」機械と消耗品の売上構成比を教えてください。

回答 6

第1四半期の実績は、機械 1：消耗品 2 になります。

質問 7

北米のインダストリアル事業について、17 億から 18 億へ増加した要因は全てコンクリート系工具の売上増加が要因になるのでしょうか。

回答 7

木造系工具などが若干減少しましたが、コンクリート系工具の増加が上回り、全体で増加しました。

■オフィス機器部門について

質問 8

オートステープラの第1四半期の売上について、為替の円安や取引先の在庫調整などで横ばいとありましたが、第2四半期以降の需要の見方を教えてください。

回答 8

在庫調整の影響に関しては近々で落ち着くと考えていますので、今後は前年並みの水準が続くと想定しております。米中貿易摩擦の影響はオートステープラ全体で見れば、影響は少ないと考えています。

質問 9

オフィス機器部門の第1四半期の営業利益率改善はどのような要因ですか。為替とのれん償却がなくなった影響とありましたが、どのくらいの影響でしょうか。

回答 9

のれんの償却は、前年同期に 35 百万円ありました。為替については、人民元安など原価が下がる影響があり、利益率の改善につながりました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が 7 月 29 日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。